

## 日本口腔内科学会雑誌投稿・掲載規定

### 掲載内容

本誌は、口腔内科学に関する研究〔①全身疾患と口腔病変との関連についての研究、②口腔内科的疾患（口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、顎関節疾患、口腔心身症、ペインなど）の診断、原因、予防、治療法等の研究、③歯科治療時の全身状態の評価と対応についての研究など〕に関する原著、症例報告、総説、総会抄録、本学会記事などを掲載する。

### 投稿論文の内容

- 1) 投稿論文は、原著あるいは症例報告で、未発表のものに限る。
- 2) 投稿論文は、原則的に和文とし、下記の執筆要項にそったものとする。
- 3) 論文は、人を対象とする場合はヘルシンキ宣言を遵守したものでなければならない。また、動物実験は「大学における動物実験の実施に関する基本的な考え方」（学術審議会）の主旨にそったものとする。

### 投稿資格

著者は、原則として本学会会員に限る。ただし、編集査読委員会が執筆を依頼したものについてはこの限りでない。

### 投稿について

郵送の場合は、オリジナル、コピー（オリジナルと同等）2部、投稿票、利益相反自己申告書を添付すること。なお、写真などコピーで不鮮明な場合は、オリジナルを添付する。

データ配信の場合は、日本口腔内科学会ホームページから論文データ、投稿票、利益相反自己申告書を投稿する。データの形式はword, excel, power point, PDFのいずれも受付可能とする。

### 採否・掲載順位

- 1) 編集査読委員会の査読を経て論文の採否を決定する。なお、編集査読委員会は、必要に応じて専門査読委員を委嘱し、その意見を参考にして採否を決定することがある。
- 2) 掲載順位は、原則として受付順とするが、雑誌の体裁を保つため編集査読委員会で審議の上変更することがある。

### 受付・掲載予定証

- 1) 原稿受領後直ちに論文の受付証を発行する。ただし、下記の執筆要項にそわない原稿は、返却のう

え訂正を求める場合がある。その場合は受付証を発行しない。

- 2) 論文の採択後直ちに掲載予定証明を発行する。

### 編集

論文の編集については、編集査読委員会に一任される。

### 校正

著者校正は、原則として初校のみとし、校正は印刷の誤りのみとする。

### 英文校正

採択された論文のうち、ネイティブチェックを受けていないと査読編集委員会が判断した場合、学会が代行してネイティブチェックを行う。その費用は著者負担とする。依頼論文についてはその限りではない。

### 掲載料

掲載料は、依頼原稿を除き著者負担とする。ただし、本学会がその一部を負担する。

### 別冊

別冊は50部以上とし、その実費は著者負担とする。

### 原稿送付先

郵送の場合、「書留」「レターパック」「宅急便」等で下記宛に郵送すること。

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11

一ツ橋印刷（株）学会事務センター内  
日本口腔内科学会編集査読委員会

### 著作権

掲載論文の著作権（copyright）は、本学会に帰属するものとする。

### 執筆要項

- 1) 原稿は、原則としてワードプロセッサを用いて作成し、A4判用紙1枚に25字30行印字すること。なお、投稿論文と同一内容を記録したCDを提出されたい。その際、CDに用いたコンピューター等の機器名、アプリケーション名を明記すること。
- 2) 原著はA4判用紙で22枚以内、症例報告は12枚以内（いずれも文献、図表を含む）とする。なお、図表はA4判用紙1/2枚を目安として計算する。
- 3) 表紙（原稿の1枚目）には、和文および英文の標題名、著者名、所属機関名（主任または指導者名）を記載する。
- 4) 2枚目には20字以内の和文の簡潔標題（ランニ

ングタイトル), 必要別冊部数 (朱書), 連絡先氏名・住所, 電話番号, FAX 番号, e-mail アドレス, 掲載料請求先氏名・住所を記載する。

- 5) 原稿 3 枚目に和文抄録 (原著 400 字以内, 症例報告 200 字以内) とそれに対応する英文抄録を原稿 4 枚目に添付すること。また, それぞれの文末にキーワード (原著 5 語以内, 症例報告 3 語以内) を記入する。なお, 英文抄録は, A4 判用紙にダブルスペースで印字すること。
- 6) 本文は 5 枚目より始め, 原著の場合原則として緒言, 対象あるいは材料, 方法, 結果, 考察, 結論, 文献の順に記述する。  
症例報告の場合は原則として緒言, 症例, 考察, 結論, 文献の順に記述する。
- 7) 原稿の 1 枚目を 1 ページとし, 文献までのすべてにページ番号を記すこと。
- 8) 原稿は漢字まじりの平仮名, 口語体, 新仮名遣いとし, 簡潔に記述すること。
- 9) 数字はアラビア (算用) 数字とし, 数量の単位は次に準じる。  
m, cm, mm,  $\mu$ m, nm, l, ml, kg, g, mg,  $^{\circ}$ C, % など
- 10) 本文で繰り返される語句は, 略語を用いてよいが, 本文初出の際全綴りを記載し, 略語を後 ( ) に記載する。
- 11) 外来語および外国人名で慣用訳のないものは原字をそのまま用いること。
- 12) 図表は手札以上とし, 図表の説明は原則として英文とする。図説明は別紙に記載して図表とともに一括して別綴じとする。なお, 図表の挿入希望位置を本文中の右欄外に朱書きで明記すること。  
電子投稿する場合, 写真・図は 400dpi 以上の解像度とする。
- 13) 利益相反については論文投稿時に本学会倫理委員会の定める「日本口腔内科学会雑誌などの投稿論文に関わる利益相反 (COI) 自己申告書」(様式 3) を添付すること。

なお, COI の有無については論文末尾「引用文献」の前に以下の記載例にならって開示すること。

- (1) COI 状態がない場合: 「本論文に関して, 開示すべき利益相反状態はない。」
  - (2) COI 状態がある場合: 「本論文に関して, 開示すべき利益相反状態はあり。」
- 14) 引用文献は直接関係あるものに留め, 本文中の引用箇所に引用順に肩番号を付け (鈴木<sup>3,5-7)</sup> のように), 次の例にならって, 本文末に番号順に並べる。
- (1) 雑誌の場合, 著者名: 論文名. 雑誌名 巻: 始頁-終頁, 発行年. の順に記載する。

#### 例

戸田ひとみ, 高橋雄三, 富塚清二, 他: 口腔粘膜疾患の臨床統計学的検討. 日口粘膜誌 2: 69-75, 1996.

Banoczy J and Csiba A: Occurrence of epithelial dysplasia in oral leukoplakia. Oral Surg 42: 46-66, 1976.

(2) 単行本の場合, 引用部分の著者名: 標題. 監修または編集者名; 書名, 版数, 出版社名, 発行地, 発行年, 引用始頁-終頁.

#### 例

榎本昭二: 口腔粘膜の病変. 上野 正, 伊藤秀夫監修; 最新口腔外科学, 第 3 版, 医歯薬出版, 東京, 1986, 699-708 頁.

Pindborg JJ: Atlas of the oral mucosa. 3 ed, Munksgaard, Copenhagen, 1980, pp. 22-27.

なお, 共著の場合筆頭者から 3 名までは列記し, それ以上は他または et al とする。雑誌の略名については, 和文誌は日本医学図書館編の日本医学雑誌略名表に, 外国誌は Index Medicus 収載のものに準じる。

#### 附則

2018 年 6 月 30 日改定

日本口腔内科学会雑誌編集査読委員会